

東北森林管理局

山形森林管理署 もがみ支署通信

林業木材産業推進セミナーが開催されました。

【3月9日（木）】最上総合支庁5階講堂にて、最上地域の林業関係者を対象に、広葉樹の価値や持続的な管理などについて理解を深めることを目的にセミナーを開催いたしました。（参加者は約60名）

セミナーでは、宇都宮大学農学部 森林科学科教授 大久保 達弘（おおくぼ たつひろ）氏より「ブナと広葉樹林の生態から見た持続的利用」

青森県森林組合連合会 参事 秋田 貢（あきた みつぎ）氏より「広葉樹資源の活用について」と題しまして両名の方々より講義をしていただきました。

最上地方には、多くの広葉樹資源がありますが、林地保全等の観点から積極的な伐採はほとんど行われていません。しかし、スギなどの間伐の際、スギと一緒に成長した広葉樹を伐採することがあり、貴重な資源を有効に活用できるような供給方法等が課題となっています。

講義では、日本と世界各国のブナ、ナラを中心とする天然生林の施業状況や、広葉樹の用途（建築、家具、楽器、酒樽など）に応じた最適な採材方法、樹種の選択など解り易く説明していただき、広葉樹の活用について更なる理解が深める事ができたのではないのでしょうか。



秋田氏による講義



セミナーの様子

前森スギの製材を見学してきました。

【3月24日（金）】昨年、10月25日に市場で販売を実施した「**高** **国** 前森スギ」（通信101号参照）の製材状況を見学させていただきました。

製材されたスギ丸太は、直径38cm長さ6mで高品質ブランド材規格をクリアした丸太です。

長尺材（6mなど）については、受注が入り次第用途に応じて適切に製材するとの事でした。

当支署では、スギを伐採し丸太にして生産はしますが、製材品などについてはあまり詳しくありません。

出材した丸太の用途や、製材方法を知ることで、今後生産される丸太の仕訳や採材方法など非常に参考となりました。



前森スギ製材の様子

山形森林管理署 最上支署

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11

TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706



国民の森林・国有林